



政府統計

全国貨物純流動調査

国土交通省

年間輸送傾向調査票（倉庫業）（令和2年4月～3年3月）

所管する倉庫が2つ以上ある場合は、倉庫種別または倉庫所在地の市区町村が異なるごとに調査票をかえてご記入下さい。

ご記入にあたっては、「回答の手引」をご参照下さい。

問1. 貴事業所・対象倉庫に関してご記入下さい。

事業所名		対象倉庫従業者数 (令和3年9月末日現在)	人	対象倉庫の面 容積 (平成27年9月末日現在)	1類・2類・3類倉庫		m ²	冷蔵倉庫	m ³
					危険品倉庫	建屋	m ²	野積倉庫	m ²
事業所所在地	Tel. (市外局番) - () -	対象倉庫敷地面積 (令和3年9月末日現在)	m ²	ご回答いただく対象倉庫の みの面 容積をご記入下さい。		タンク	m ³	水面倉庫	m ²
					貯蔵そう倉庫		m ³		
対象倉庫所在地	都道府県	市区町村	現在の所在地で 操業を開始した年	大正以前・昭和・平成・令和 (年については昭和34年以前は具体的 な年の記入の必要はありません)	年	ご回答者氏名			

問2. 令和2年度における入庫・出庫高（実重量）をご記入下さい。
次に、出庫に際しての輸送機関別重量割合（%……小数点以下四捨五入）をご記入下さい。

品 類 「品類・品目分類表」の品 類を参考にして下さい。	入庫高（トン）	出庫高（トン）	輸送機関利用状況（%）						
			合計	鉄道	自家用 トラック	営業用 トラック	海運	航空	その他
農 水 産 品			1 0 0 %						
林 産 品			1 0 0 %						
鉱 産 品			1 0 0 %						
金属機械工業品			1 0 0 %						
化 学 工 業 品			1 0 0 %						
軽 工 業 品			1 0 0 %						
雑 工 業 品			1 0 0 %						
排 出 物			1 0 0 %						
特 殊 品			1 0 0 %						
合 計									

問3. 入庫・出庫（国内輸送）に際して、鉄道・海運・航空および高速道路を利用している
場合、その主な利用鉄道貨物駅、港湾、空港、インターチェンジ名をご記入下さい。

施設 区分	鉄道貨物駅	港 湾	空 港	高速道路 インターチェンジ
入 庫				
出 庫				

輸送機関
①2つ以上の輸送機関で積替え輸送された場合は、その中で最も輸送距離の長い輸送機関を、それぞれの出荷の輸送機関とみなして下さい。
②輸出の場合は、貴事業所から輸出港湾または輸出空港までの輸送で、最も輸送距離の長いものを、それぞれの出荷の輸送機関とみなして下さい。ただし、貴事業所内の専用埠頭から輸出した場合の利用輸送機関は、「その他」として下さい。
③トラック、トレーラーなどによる輸送において、一部の区間でフェリーを利用しても（被牽引車のみの場合も含む）、輸送機関はトラックとします。
④営業用トラックとは、運送業者に委託するトラック輸送を指します。
⑤その他とは、パイプライン・ベルトコンベア・自走など、鉄道・自家用トラック・営業用トラック・海運・航空以外の輸送機関を指します。

問4. 問2. の出庫高合計重量を100とした場合の貨物の届先地別重量割合（%：小数点以下四捨五入）をご記入下さい。

届先地	重量 割合	届先地	重量 割合
1 北海道		25 滋 賀	
2 青 森		26 京 都	
3 岩 手		27 大 阪	
4 宮 城		28 兵 庫	
5 秋 田		29 奈 良	
6 山 形		30 和歌山	
7 福 島		31 鳥 取	
8 茨 城		32 島 根	
9 栃 木		33 岡 山	
10 群 馬		34 広 島	
11 埼 玉		35 山 口	
12 千 葉		36 徳 島	
13 東 京		37 香 川	
14 神奈川		38 愛 媛	
15 新 潟		39 高 知	
16 富 山		40 福 岡	
17 石 川		41 佐 賀	
18 福 井		42 長 崎	
19 山 梨		43 熊 本	
20 長 野		44 大 分	
21 岐 阜		45 宮 崎	
22 静 岡		46 鹿児島	
23 愛 知		47 沖 縄	
24 三 重		合 計	100%
		うち外国	

※	都道府県No.	業 種 No.	事業所 No.	

（※印は記入しないで下さい）